

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2018年3月10日～2018年3月16日の推移】

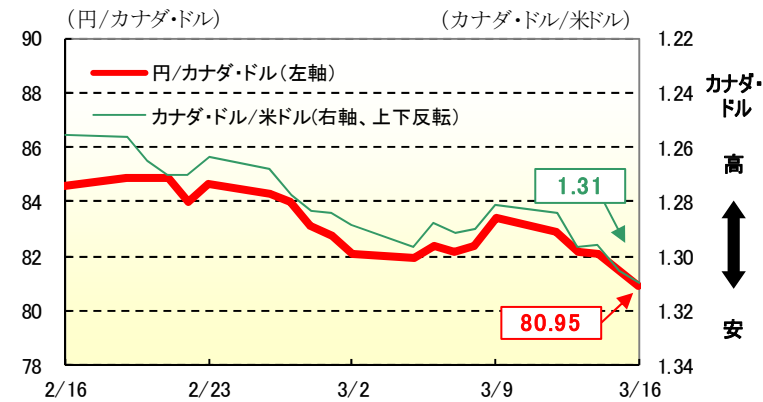
### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円は下落し、カナダ5年国債利回りは低下しました。

先週は、カナダ銀行のポロズ総裁の講演があり、そこで将来の利上げについて慎重姿勢が示されたほか、インフレなき経済成長への可能性にも言及があったことが、市場の利上げ期待を後退させ、金利低下やカナダ・ドルの下落要因となりました。

また、米国のトランプ大統領が中国に対し対米貿易黒字の削減を求めていることが明らかになったことなどにより、米国の保護主義的な通商政策が世界経済へ悪影響を与えるのではとの懸念が高まり、市場のリスク回避的な姿勢が強まったことも円高を進めました。

### 【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年2月16日～2018年3月16日)



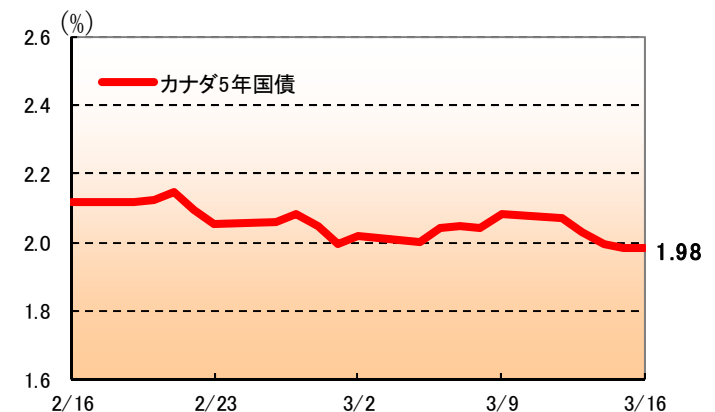
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。  
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 【2】今週の見通し

今週、カナダではCPI(消費者物価指数)や小売売上高の発表があります。前年比のCPIについては前月から伸びが加速することが予想されており、堅調な結果となった場合には、利上げ期待が高まり、金利やカナダ・ドルの上昇圧力になるとみえています。

また、今週は米国でFOMC(米国連邦公開市場委員会)が開催されます。今回は0.25%の利上げが見込まれますが、市場の注目は、参加者のFFレート(政策金利)予測を示すドット・チャートに集まるとみえています。現在市場が織り込んでいよりも利上げペースが加速することが示唆された場合には、米国金利の上昇圧力が高まり、それにカナダの金利も連れることが考えられます。

### 【カナダ 金利推移】 (2018年2月16日～2018年3月16日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>